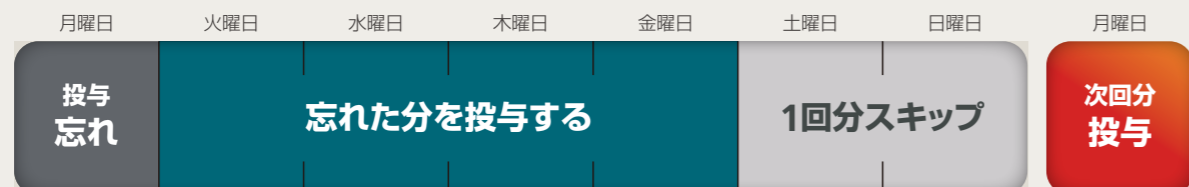


## 注射を忘れてしまった場合

### 次の投与予定日まで2日(48時間)以上の場合

気づいた時点で直ちに1回分を投与し、その後はあらかじめ決められた曜日に投与してください。

例)月曜日が投与日の場合



### 次の投与予定日まで2日(48時間)未満の場合

忘れた分は投与せず、次の投与予定日に1回分を投与してください。

倍の量を投与するなど、忘れた分を埋め合わせないでください。

## 注射に関するQ&A

**Q** | オゼンピック®皮下注 SDのシリンジ内に気泡がありますが大丈夫ですか？

**A** | 気泡がシリンジ内にあっても、投与量や健康に影響はありません。

**Q** | オゼンピック®皮下注 SDでは空打ちは必要ですか？

**A** | 空打ちは不要です。

**Q** | 薬局から家に持って帰る場合、保冷する必要はありますか？

**A** | 医療機関から自宅へ持ち帰る程度の時間であれば、冷蔵保存の状態を保つことができなくても、薬液成分への影響はありません。

### ノボケア相談室

製品に関する疑問・質問などは、お気軽に下記のノボケア相談室にお問い合わせください。

 **月曜日から金曜日**  
(祝日・会社休日を除く)

 **0120-180363**

 **夜間及び  
土日・祝日・会社休日**

(注)お問い合わせ内容によっては、翌営業日に  
回答させていただく場合がございます。

 **0120-359516**

ノボ ルディスク ファーマ株式会社  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1  
www.novonordisk.co.jp

JP19OZM00034  
(2020年5月作成)

オゼンピック®皮下注 0.25mg SD  
0.5mg SD  
1.0mg SD

オゼンピック®皮下注 SDを使用される方へ

# オゼンピック® 皮下注 SDの使い方

監修：新潟薬科大学薬学部臨床薬学研究室 教授 朝倉 俊成 先生



※オゼンピック®皮下注 SDの製品名に含まれる「SD」は単回使用を意味するSingle Doseの頭文字に由来します。



この冊子は、オゼンピック®皮下注0.25mg SD、0.5mg SD、1.0mg SDの  
使用手順や注意点を説明したものです。注意事項やその他の必要事項の  
詳細については、製品に添付されている取扱説明書をご覧ください。  
また、自己注射は、主治医の指導のもとで行ってください。

オゼンピック®

## オゼンピック®皮下注 SD<sup>※1</sup>各部の名称

※1 オゼンピック®皮下注 SDは、オゼンピック®皮下注0.25mg SD、オゼンピック®皮下注0.5mg SD、オゼンピック®皮下注1.0mg SDの総称です。



### 製剤区分マーク<sup>※2</sup>

種類・薬効による分類を示すマークです。



は超速効型インスリン製剤、**持効**は持効型インスリン製剤、



はGLP-1受容体作動薬の仲間であることを示しています。

※2 製剤区分マークは、日本糖尿病協会 糖尿病医薬品・医療機器等適正化委員会にて検討・評価されて制定されました<sup>1)</sup>。

1) 日本糖尿病協会 糖尿病医薬品・医療機器等適正化委員会: DM Ensemble, 5(3):34, 2016

## 投与量にあわせた1回使いきりの3製品です

オゼンピック®皮下注 SDには、0.25mg、0.5mg、1.0mgの3種類があります。

それぞれ1回投与分の薬液があらかじめ充填されています。

主治医に指示された投与量とお間違えないかを必ずご確認ください。

2本以上使って投与しないでください。

### オゼンピック®皮下注 SDとは?

- 1回使いきりです。
- 注射針の取り付けは不要です。
- 投与量の設定は不要です。

0.25



0.5



1.0



## 投与スケジュールを決めましょう

オゼンピック®皮下注 SDは1週間に1回投与の皮下注射剤です。

週1回0.25mgを4週間続けた後、週1回0.5mgの維持用量に変更します。

週1回0.5mgを4週間以上投与しても効果不十分な場合には、週1回1.0mgに変更するかを主治医が判断します。

毎週同じ曜日になるように、自分の生活習慣と投与タイミングを組み合わせ、忘れずに投与しましょう。

### 開始用量

**0.25 mg**  
4週間



開始用量として、週1回0.25mgを**4週間**続けます。

### 維持用量

**0.5 mg**  
4週間以上



次に、週1回0.5mgに変更し、**4週間以上**続けます。維持用量になります。  
あなたは

月 日( )より

**0.5mg**に変更してください。

### 治療の強化

**1.0 mg**  
個々の状態にあわせて



患者さんの状態にあわせて、1.0mgに変更するかを、主治医が判断します。  
あなたは

月 日( )より

**1.0mg**に変更してください。



## 保管方法

使用前は、個装箱などにより遮光し、凍結を避け、冷蔵庫(2~8℃)に保管してください。また、オゼンピック®皮下注 SDを処方されたときは、ご帰宅後速やかに冷蔵庫に保管してください。

万一、凍結した場合は使用しないでください。

- オゼンピック®皮下注 SDは、お子様の手の届かないところに保管してください。
- 水など液体のかけやすい場所にペンを置かないよう、取扱いには注意してください。
- 落としたり衝撃を与えたりしないでください。ペンの故障や液漏れの原因となり、健康被害が生じるおそれがあります。



## 安全に使用するために

- オゼンピック®皮下注 SDを他の人に渡さないでください。
- はずしたペンのキャップをお子様飲み込まないようにしてください。
- オゼンピック®皮下注 SDは1週間に1回投与分の薬液が充填されており、再使用はできません。使用後は廃棄してください。
- オゼンピック®皮下注 SDを目の不自自由な方がご使用になる場合には、操作法の訓練を受けた方の手助けを受けてください。
- インスリンからオゼンピック®皮下注 SDに治療を変更した際に、まれに高血糖をきたす場合があると報告されています。もし高血糖になった場合は、すぐに主治医に相談してください。

## 注射の準備

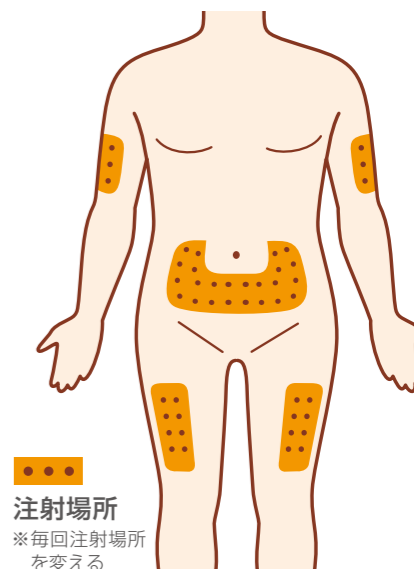
注射前

オゼンピック®皮下注 SDの入った箱を冷蔵庫から取り出してください。

冷蔵庫から取り出した直後の薬液は冷たいので、常温(15~25℃)程度に戻るまで、しばらくお待ちください(直射日光には当てないでください)。

注射する部位を確認してください。

注射部位は、おなか(腹壁)、上腕部の外側、太もも(大腿部)の外側が適しています。必ず主治医の指示に従って、“おなか”なら“おなか”のように毎回同じ部位に注射しましょう。しかし、いつも同じ場所ばかりに注射をしてしまうと、その場所(皮膚)が硬くなってしまい、オゼンピック®皮下注 SDの効き目が悪くなってしまうことがあります。同じ部位の中で、前回注射した場所より少なくとも2~3cm(指2本以上)ずらして広い範囲に注射しましょう。



以下のことを確認してください。

- ✓ 1. お薬がオゼンピック®皮下注 SD であること  
オゼンピック®皮下注 0.25mg SD  
0.5mg SD  
1.0mg SD
- ✓ 2. 注入器の投与量の表示が、主治医から指示された投与量と同じであること  
投与量: 0.25 0.5 1.0
- ✓ 3. 使用期限が切れていないこと  
使用期限 YYYYY.MM  
製造番号 ABC1234
- ✓ 4. 製剤区分マーク  
製剤区分マーク: GLP-1
- ✓ 5. 注入器に破損や異常がないか  
(既に使用された形跡がある場合、落としたりして衝撃を与えた場合、誤った方法で保管した場合など)

## 注射前

確認窓から、お薬が無色澄明で浮遊物がないことを確認します

注射部位を消毒します



### 【確認窓】

- 薬液が無色澄明で浮遊物がないことを確認してください。
- シリンジ内の小さな気泡は異常ではなく、注射に影響はありません。

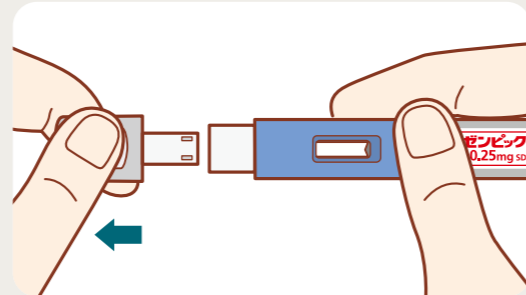
### 【キャップ】

- 必ず注射直前にはずしてください。

- 注射直前までペンのキャップをはずさないでください。キャップがはずれていたり、キャップをはずした状態で保管されたりすると、滅菌性が保証できず、感染症の原因となるおそれがあります。

## 注射開始

### STEP 1 ペンのキャップをはずします

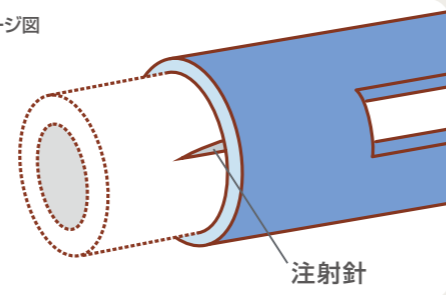


- キャップをまっすぐ引っ張ってはずします。



針に注意!

イメージ図



- 注射前のペンの取扱いにご注意ください。キャップをはずした後、ニードルカバーや内側に装着された注射針に触れないでください。ニードルカバーが押し込まれ、注射針から薬液が出てしまう可能性や、針刺し事故の原因となる可能性があります。

## 注射中

### STEP 2 注射します



確認窓が隠れないようにペンをしっかりと持ち、白いニードルカバーをまっすぐに皮膚に当て、押し込んでください。注射が開始されます。

- ニードルカバーが皮膚に当てられ、本体内に押し込まれると、注射針が刺さり、自動的に薬液が注入されます。注入用のボタンはありません。
- 注射が開始されると黄色マーカーが確認窓にあらわれ、ニードルカバーの方向に下がりはじめます。
- ペンを皮膚から離すと、ニードルカバーが押し込まれなくなり、ロックされます。途中で注射を止めて、再度注射することはできません。
- 黄色マーカーが止まったら、ペンをゆっくり持ち上げ、皮膚から離してください。

確認窓

注射開始

1回目のクリック音

押し当てを保持

2回目のクリック音  
2回目のクリック音が鳴っても、黄色マーカーが止まるまでペンをしっかりと押し当て続けてください。

黄色マーカーが止まったら注射完了

ペンをゆっくり持ち上げ、安全に廃棄します。

黄色マーカーが下がり止まるまでペンをまっすぐに皮膚にしっかりと押し当て続けてください。黄色マーカーが下がらない場合は、さらにしっかりとペンを皮膚に押し当ててください。

## 注射後

確認窓は黄色に変わります



### 【確認窓】

完全に薬液を注入すると、図のように黄色マーカーが止まります。

- 上の図のように、黄色マーカーが下がり止まるまでは、ペンを皮膚から離さないでください。